



おかげさまで70周年 さらなるステージへ

水・大地・空気を未来につなぐ

株式会社 ミダックホールディングス

[証券コード：6564]

2023年3月期（2Q）

決算説明資料

①当社グループの紹介 ……P2

②決算内容 ……P8

③今後の見通し ……P18

④ミダックG10年ビジョンと中期経営計画 ……P21

⑤トピックス ……P30

⑥Appendix ……P34

①当社グループの紹介 ……P2

②決算内容 ……P8

③今後の見通し ……P18

④ミダックG10年ビジョンと中期経営計画 ……P21

⑤トピックス ……P30

⑥Appendix ……P34

# ①-1 当社グループの紹介（会社概要）



社名：株式会社ミダックホールディングス（MIDAC HOLDINGS CO.,LTD.）  
 創業：1952年4月（昭和27年）  
 資本金：9,000万円  
 代表者：代表取締役社長 加藤 恵子  
 本社：静岡県浜松市東区有玉南町2163番地  
 従業員：305名<sup>(注)</sup>（2022年9月末：グループ連結）  
 子会社：株式会社ミダック（浜松市東区） 株式会社ミダックライナー（浜松市東区）  
 株式会社三晃（愛知県春日井市） 株式会社柳産業（浜松市西区）  
 LOVE THY NEIGHBOR株式会社（東京都世田谷区）

注:臨時雇用者の平均人員数を含む

## 《事業内容》

- 産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集運搬・処分
- 一般廃棄物の収集運搬・処分

## 《保有施設》

● ミダック ● ミダックライナー ● 三晃 ● 柳産業

### 事業所

- 富士宮事業所（焼却）
- 本社事業所（水処理・収集運搬設備）
- 呉松事業所（破碎）
- 豊橋事業所（混練）
- ミダックライナー（収集運搬車両）
- 春日井事業所（コンクリート固化）
- 関事業所（水処理）
- 柳産業（破碎）

### 営業所

- 東京営業所（神奈川県川崎市）
- 富士宮営業所（静岡県富士宮市）
- 本社営業所（静岡県浜松市）
- 名古屋営業所（愛知県名古屋市）

# ①-2 当社グループの紹介（拠点一覧）

■ 主営業エリア ● ミダック ● ミダックライナー ● 三晃 ● 柳産業

**水処理**



(株)ミダック  
本社事業所

**焼却**



(株)ミダック  
富士宮事業所

**管理型埋立**



(株)ミダック  
奥山の杜クリーンセンター

**管理型埋立**



(株)ミダック  
遠州クリーンセンター

**水処理**



(株)三晃  
関事業所

**選別・混練**



(株)ミダック  
豊橋事業所

**安定型埋立**



(株)ミダック  
浜名湖クリーンセンター

**コンクリート固化**



(株)三晃  
春日井事業所

**破碎**

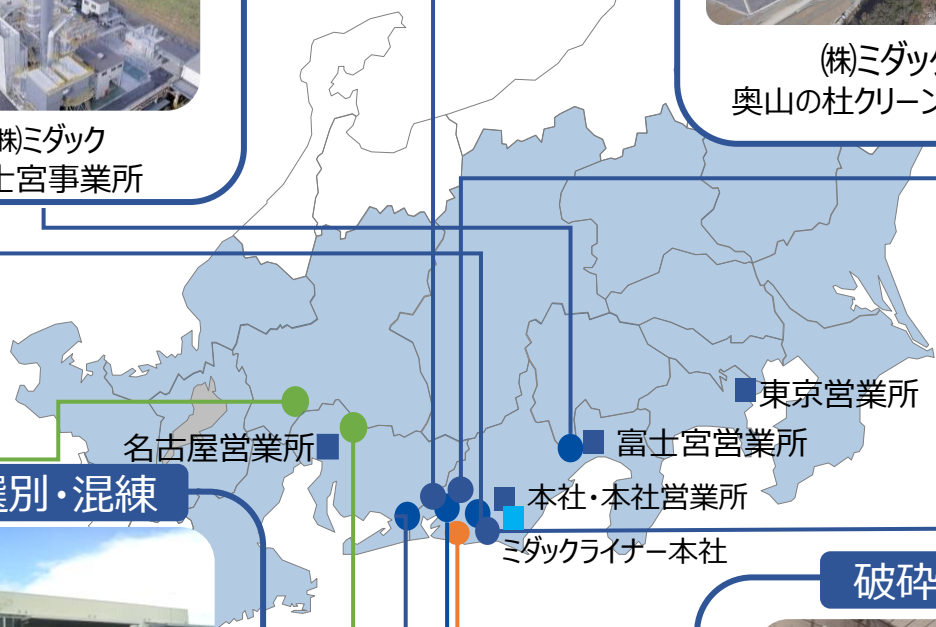


(株)ミダック  
呉松事業所

**破碎**

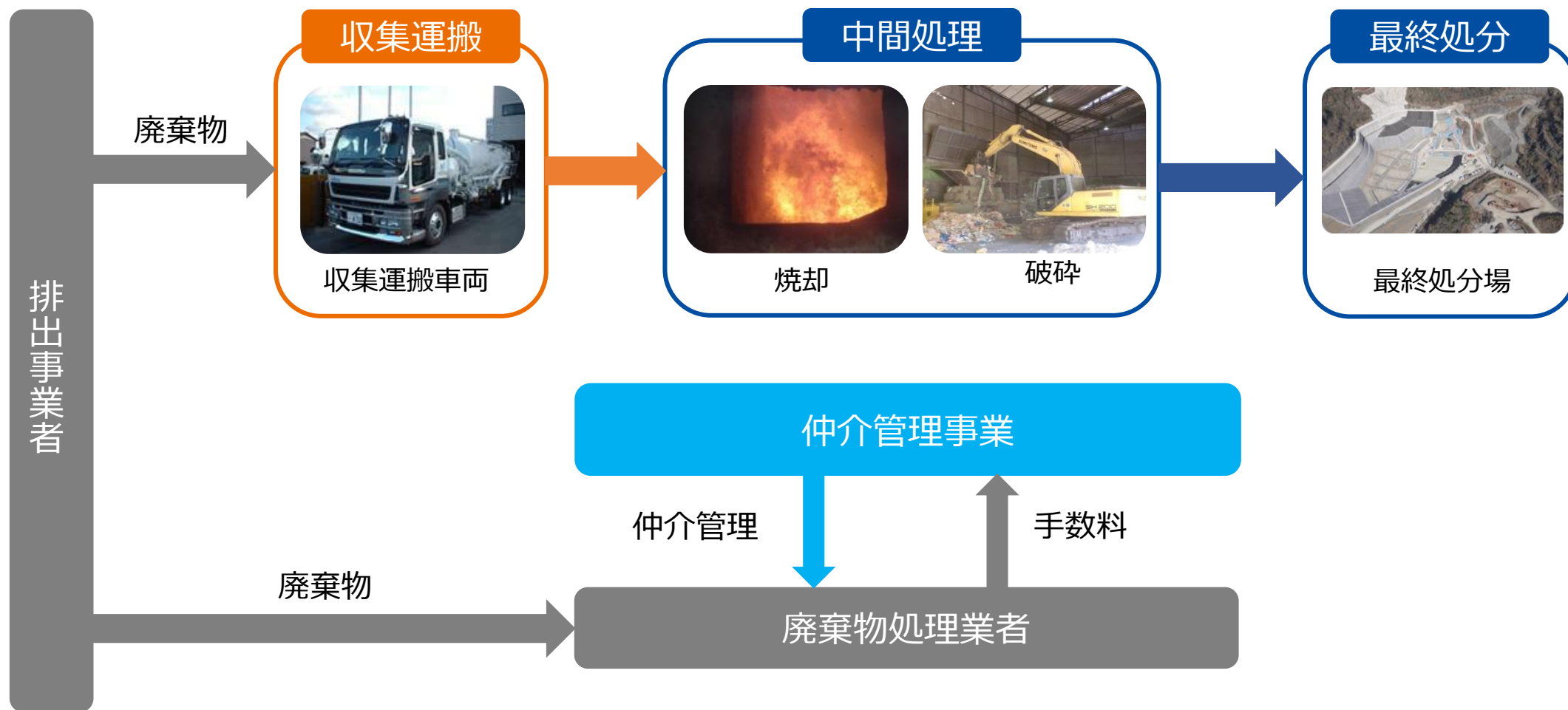


(株)柳産業



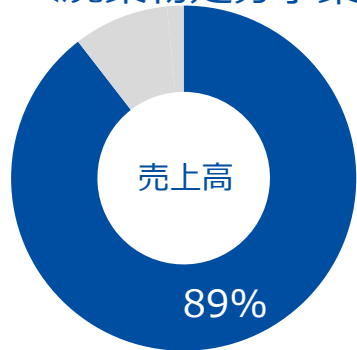
# ①-3 当社グループの紹介（廃棄物処理の工程）

■ 収集運搬事業      ■ 廃棄物処理事業      ■ 仲介管理事業



# ①-4 当社グループの紹介（セグメント一覧）

## <廃棄物処理事業>



- 自社施設による廃棄物処理サービスを提供
- 廃棄物処理サービスとは、中間処理と最終処分から構成
- 当グループの中核事業であり、多種多様な廃棄物を処理できる体制を構築



関事業所（水処理）

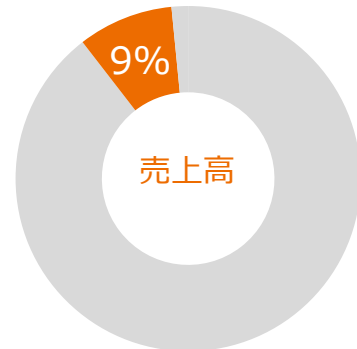


呉松事業所（破碎処理）



奥山の杜CC（最終処分場）

## <収集運搬事業>



- 廃棄物の収集運搬サービスを提供
- 固形物や廃液まで多様な廃棄物を運搬できるよう、各種車両を完備
- 付随して、清掃業務も受注



収集運搬車両（産廃収運）

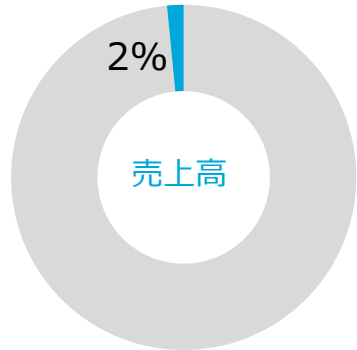


収集運搬車両（一般収運）



清掃業務

## <仲介管理事業>



- 自社以外の処理業者へ顧客の紹介サービスを提供
- 自社処理が困難な廃棄物や、自社の商圏以外の廃棄物に対して、適正な廃棄物処理を提案



富士宮営業所



東京営業所



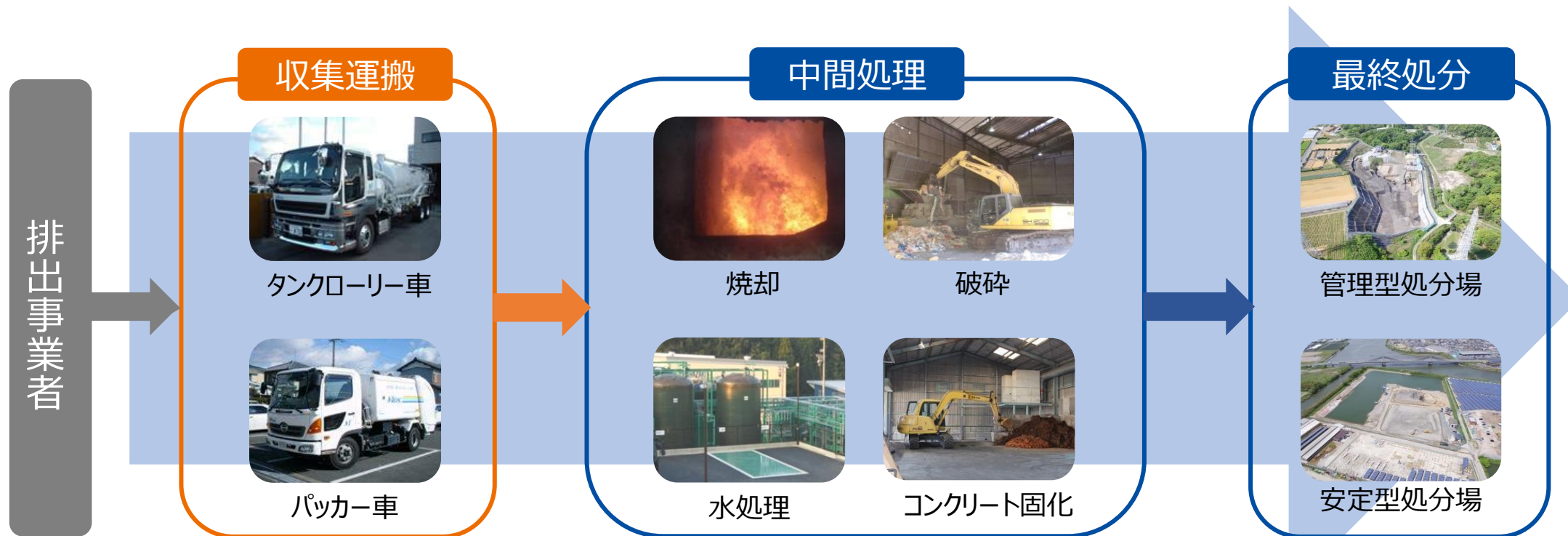
名古屋営業所

注:売上高には内部売上高を含む

# ①-5 当社グループの紹介（一貫処理体制）

- 同業の多くが収集運搬業のみや中間処理業のみであるのに対し、当社グループは様々な設備を有することで、収集運搬から最終処分までを請け負う一貫とした処理体制を構築

## 一貫処理体制



- 排出事業者は廃棄物処理の過程で不適正処理等される心配がなく安心して廃棄物を委託
- グループ内で排出される廃棄物を内製化することで、中間処理施設のコスト削減を実現し、競争力を高める等のシナジー効果を発揮



①当社グループの紹介 ……P2

②決算内容 ……P8

③今後の見通し ……P18

④ミダックG10年ビジョンと中期経営計画 ……P21

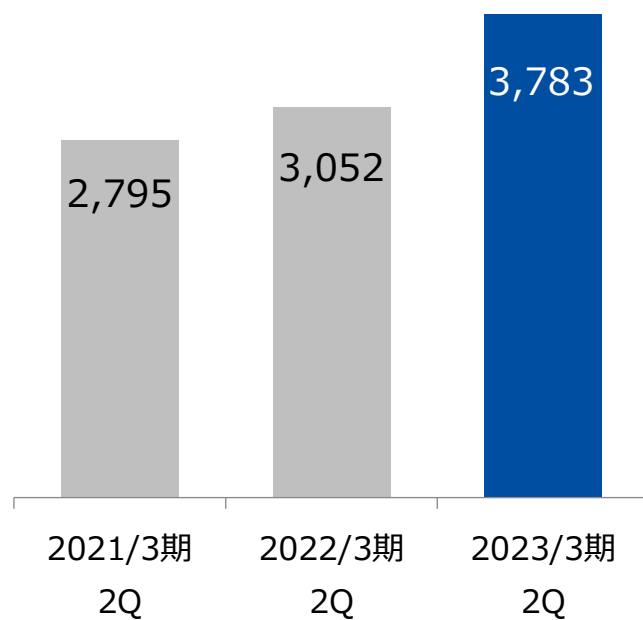
⑤トピックス ……P30

⑥Appendix ……P34

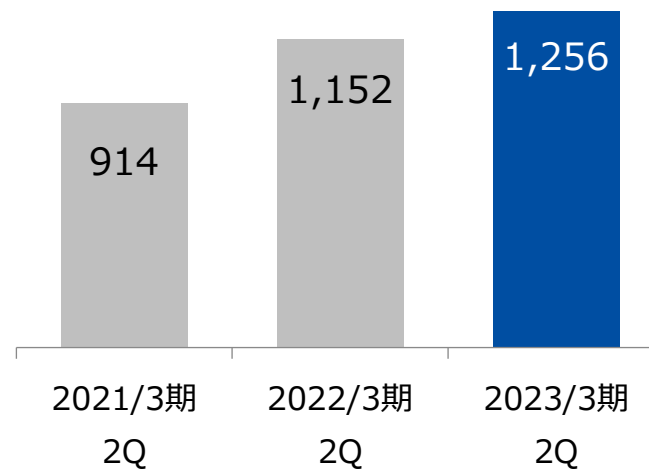
## ②-1 決算内容（連結業績ハイライト）

- 売上高 : **3,783百万円** (対前年+24.0%)
- 営業利益 : **1,256百万円** (対前年+9.0%)
- 当期純利益<sup>(注)</sup> : **732百万円** (対前年+14.0%)

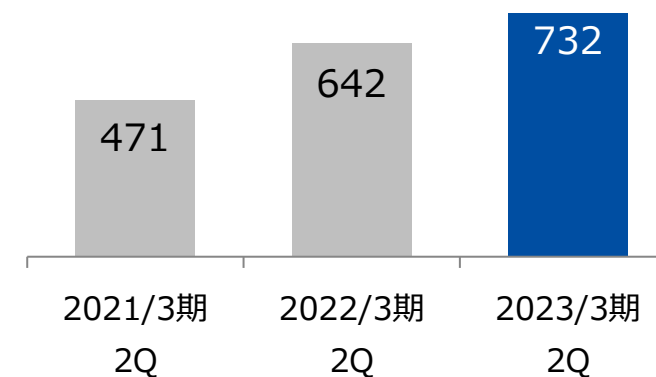
<売上高>



<営業利益>



<当期純利益<sup>(注)</sup>>

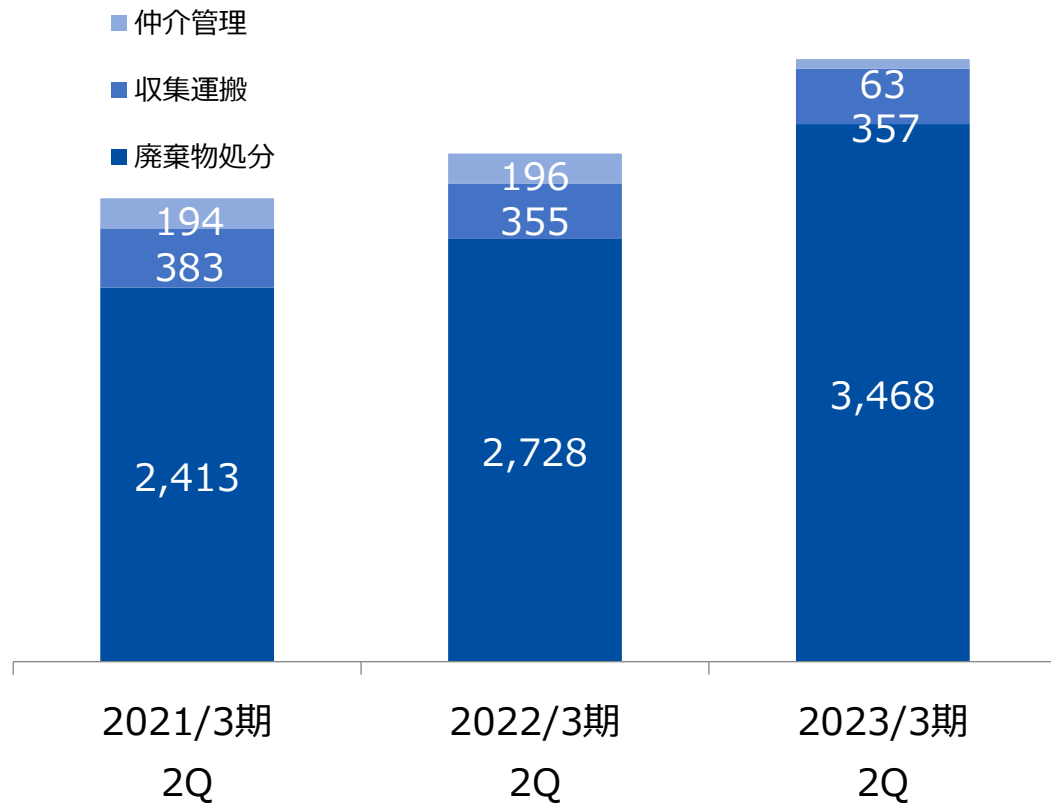


注:親会社株主に帰属する当期純利益

## ②-2 決算内容（セグメント別分析）

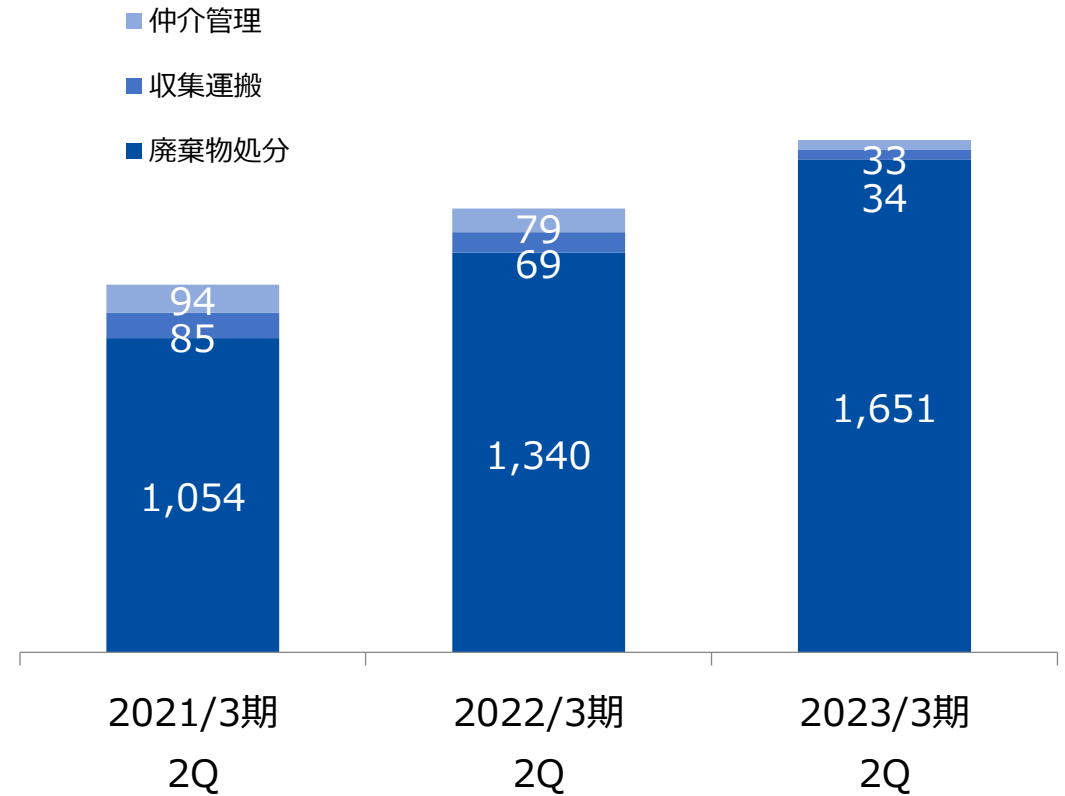
- 廃棄物処分事業は、増収・増益となったものの、収集運搬事業は増収・減益となった
- 仲介管理事業は、減収・減益となった

セグメント別売上高 <sup>(注)</sup>  
(単位：百万円)



注:内部取引を含む

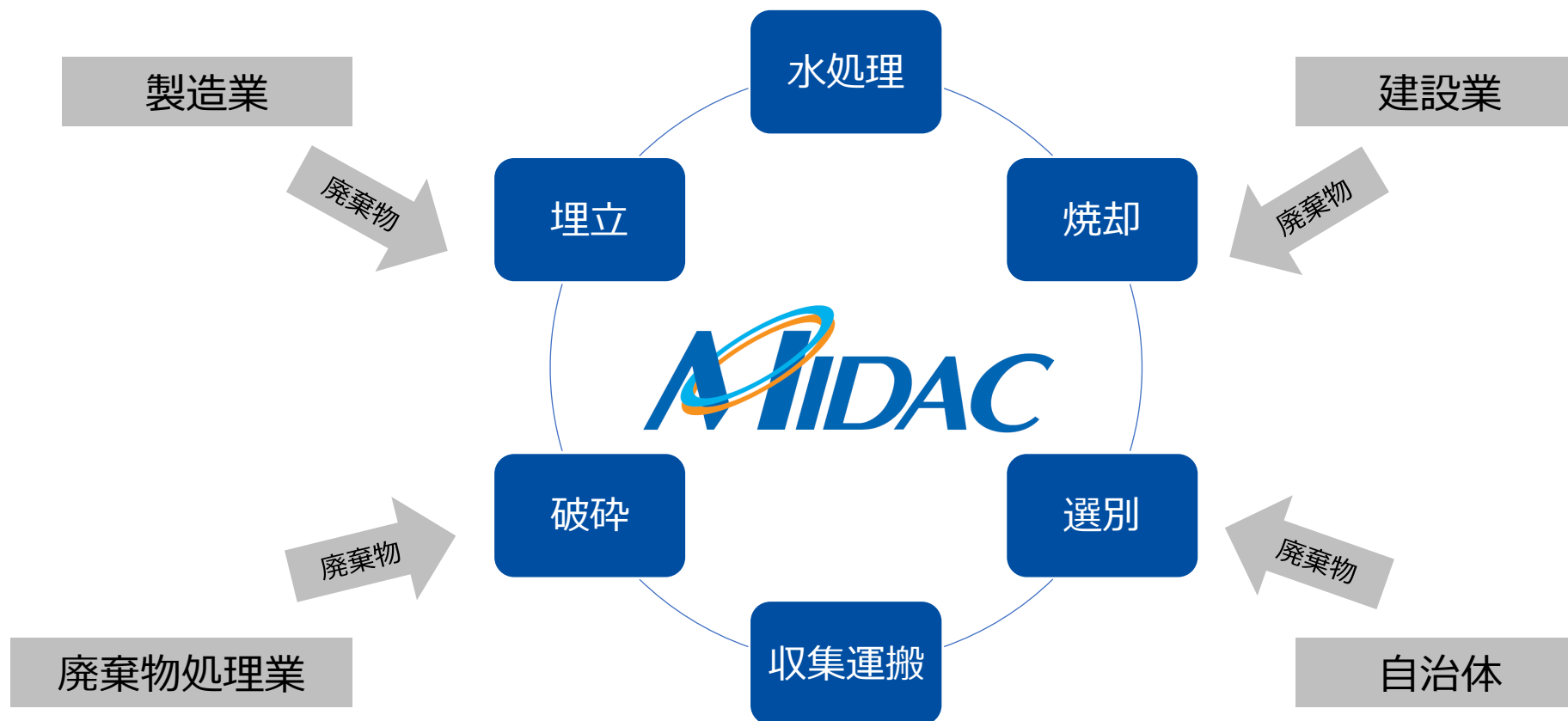
セグメント利益 <sup>(注)</sup>  
(単位：百万円)



注:内部取引を含む

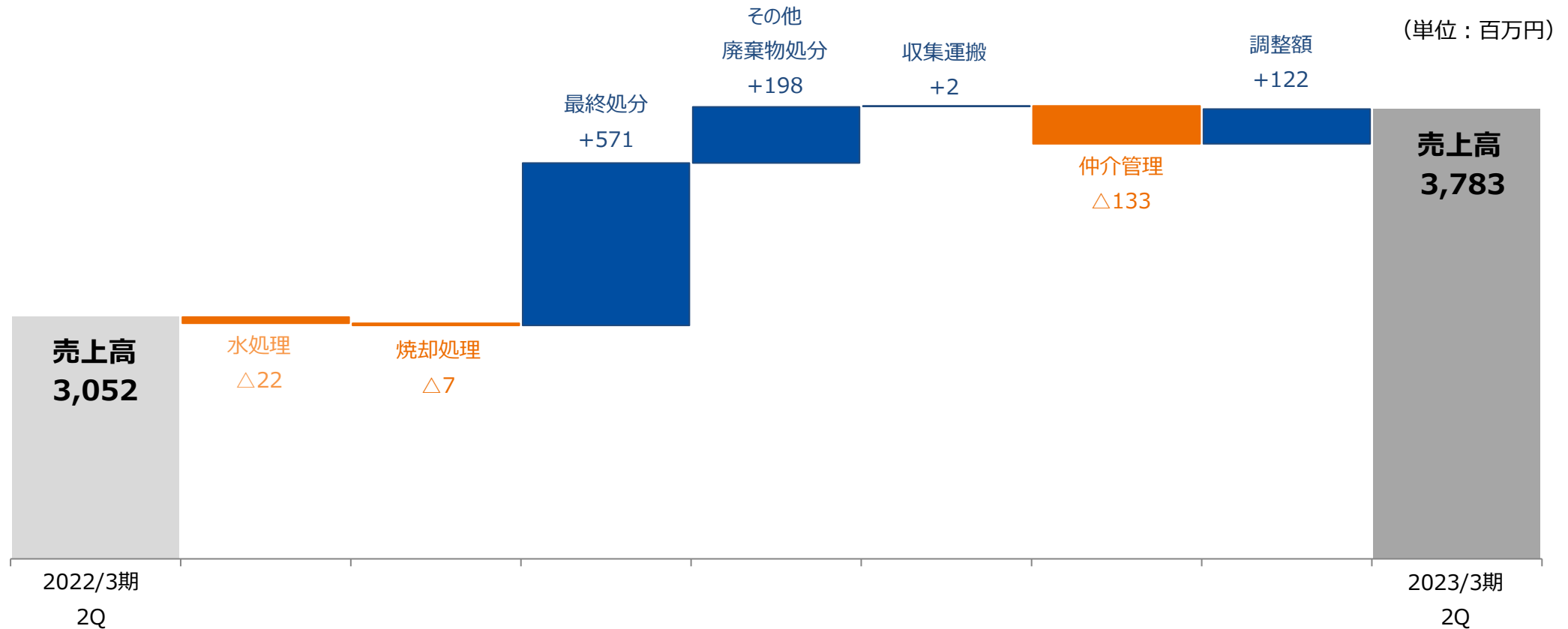
## ②-3 決算内容（新型コロナウイルス感染症による影響）

- 廃棄物一貫処理体制を基盤とし、コロナ禍においても自社が保有する多数の処理施設と許可の優位性を発揮することで、堅調な業種及び取引先に対して効率的な営業を展開することで廃棄物受託量の確保に努めた
- 営業部門との連携による廃棄物受入体制の強化を継続的に実施することで、各中間処理施設の稼働率向上に努めた
- 最終処分場においては、広域な営業を推し進め、自社が保有する複数の最終処分場を効率的に運営することで、受託量確保と受注単価の向上に取り組んだ



## ②-4 決算内容（売上高増減分析）

- 廃棄物処分事業は、奥山の杜クリーンセンターの稼働等により、最終処分を中心として好調に推移
- 水処理は、施設負荷低減のため搬入制限を実施したことから減収となった
- 仲介管理事業は、持株会社体制への移行に伴う内部売上高の減少を主因に減収となった



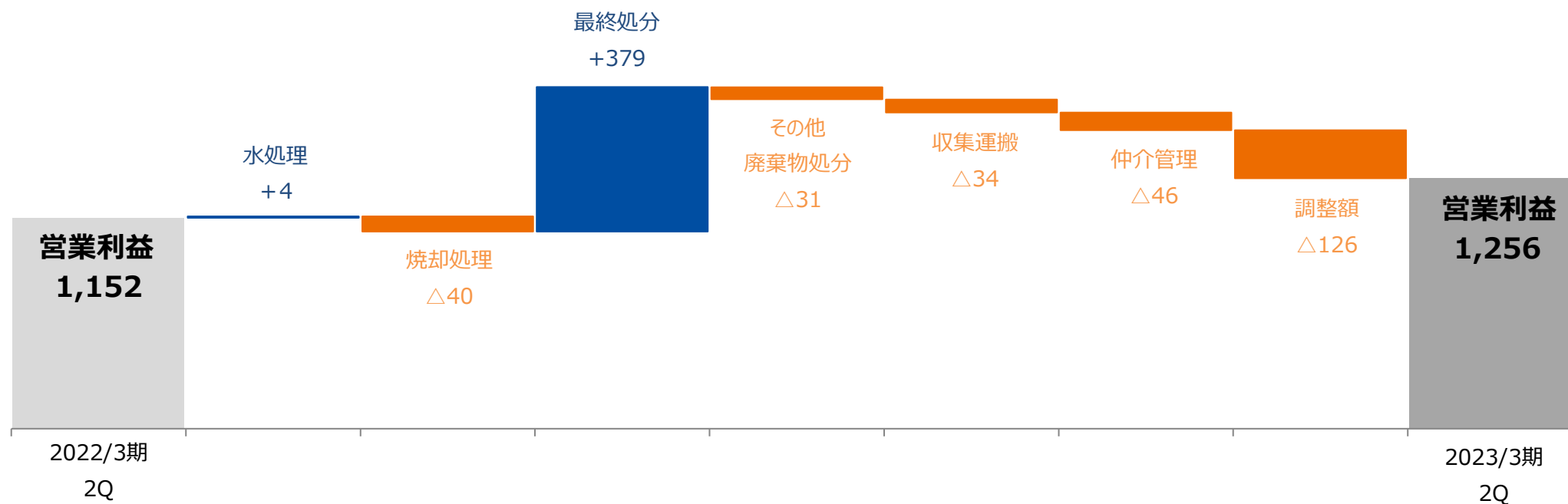
注1:各カテゴリー別の数値は内部取引を含む

注2:調整額はセグメント間取引消去の増減

## ②-5 決算内容（営業利益増減分析）

- 最終処分が大きく貢献し、廃棄物処分事業は好調に推移
- 焼却施設は、定期修繕費用の増加により、減益となった
- 収集運搬事業は、会社分割によるミダックライナーの新設に伴い、販管費及び一般管理費が増加したため、減益となった
- 仲介管理事業は、内部売上高の減少に伴い、減益となった
- 調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費が増加したことによる

（単位：百万円）

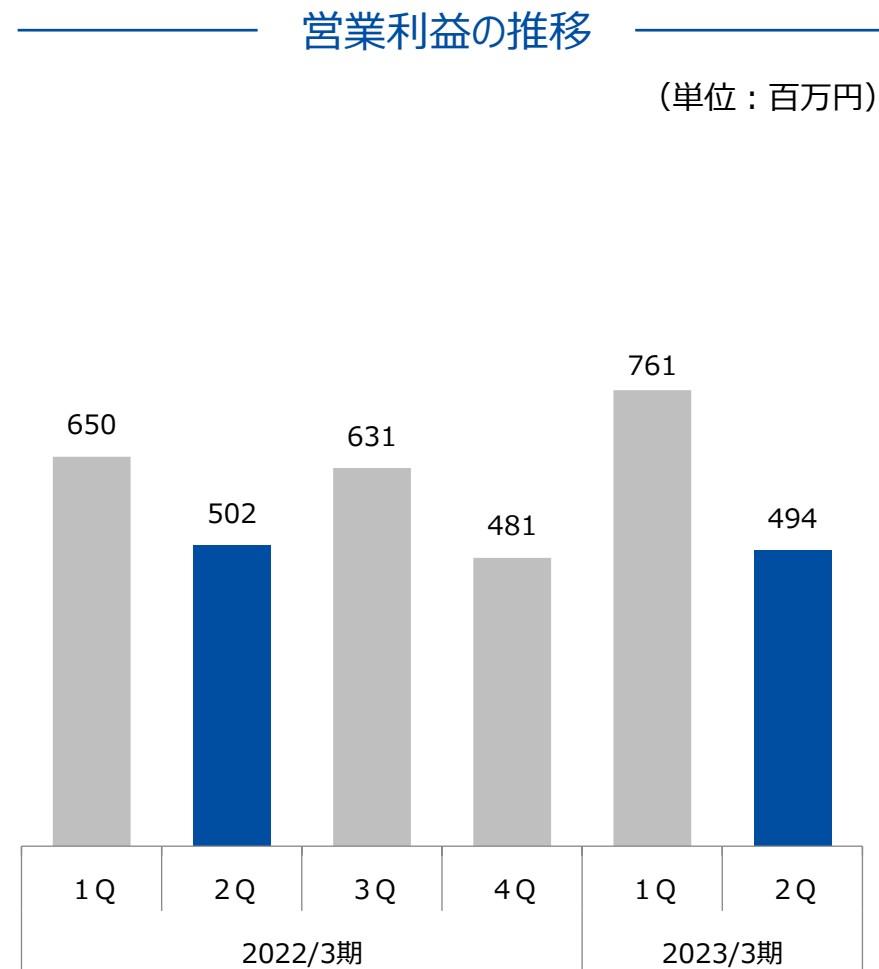
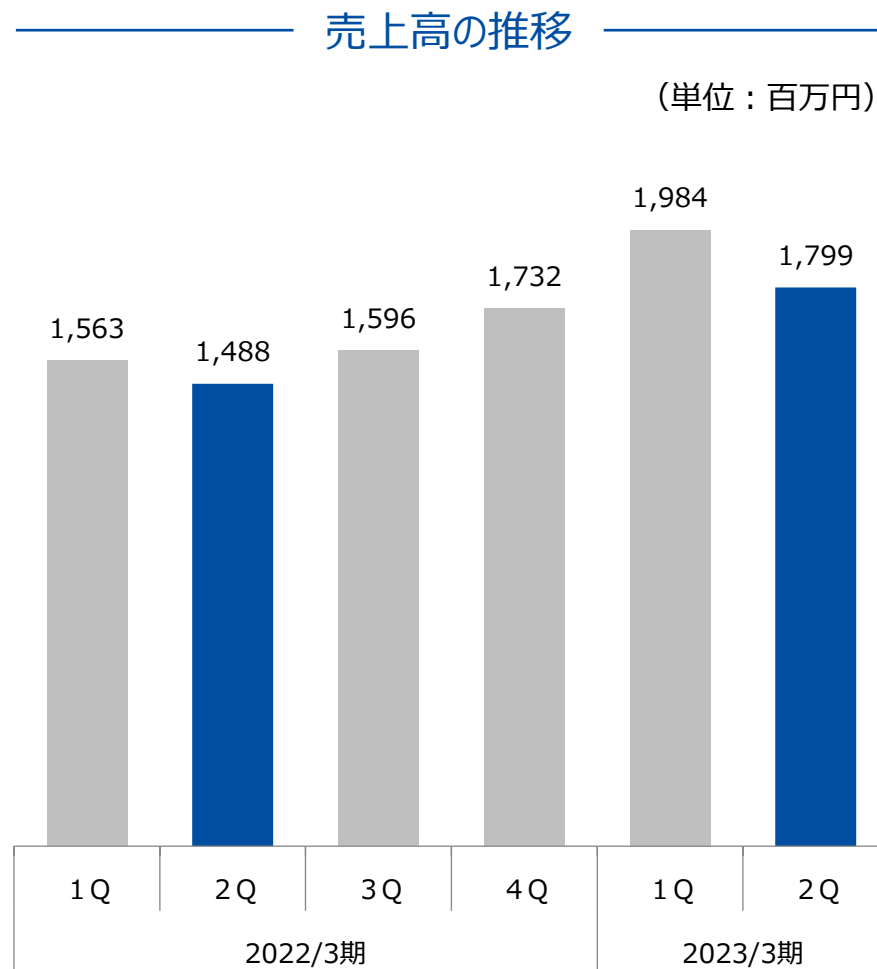


注1: 各カテゴリー別の数値は内部取引を含む

注2: 調整額はセグメント間取引消去と全社費用の増減

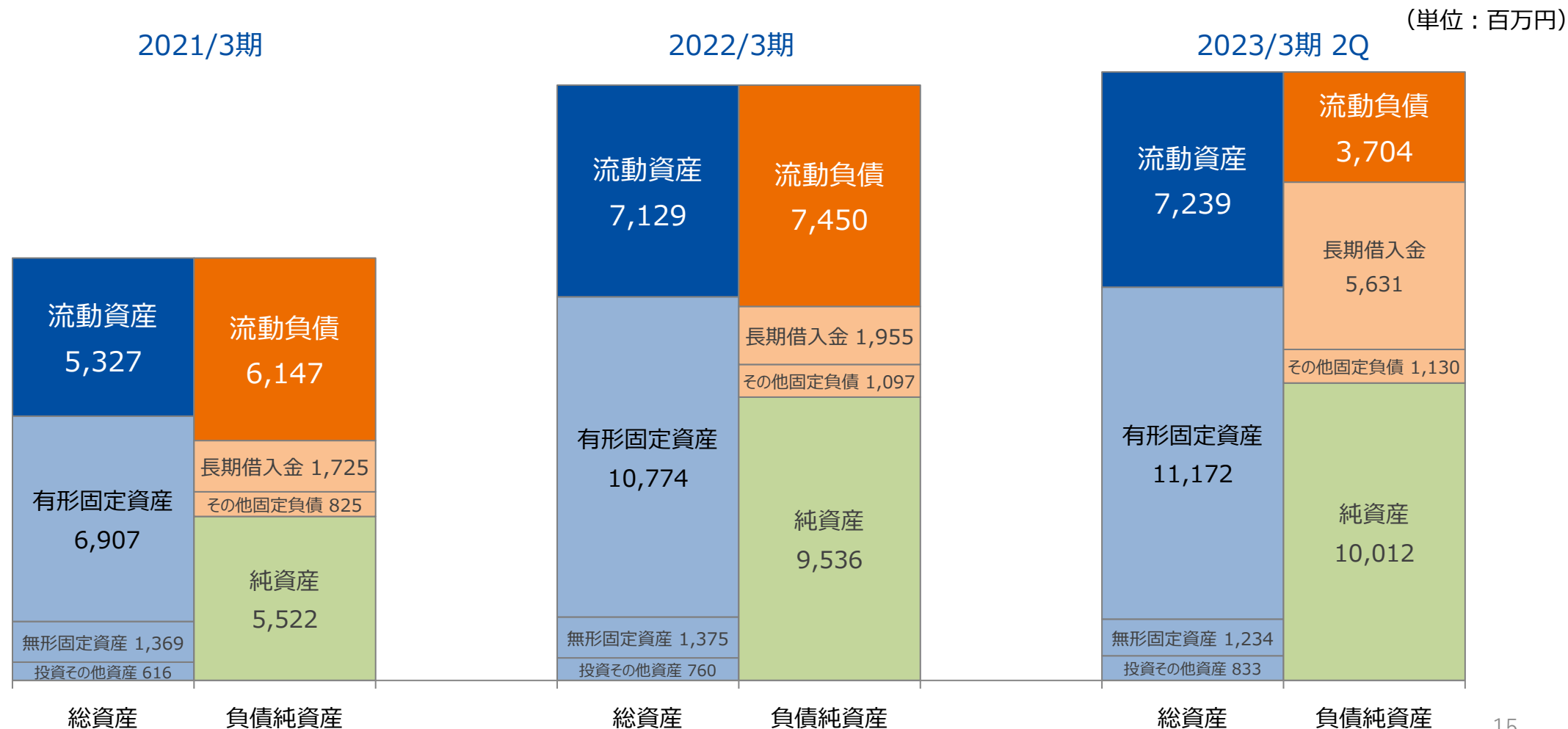
## ②-6 決算内容（四半期会計期間業績推移）

- 新規管理型最終処分場（奥山の杜クリーンセンター）の稼働に伴い、売上高は増加した一方で、修繕費等の費用が増加した結果、前第2四半期会計期間対比では増収・減益となった



## ②-7 決算内容（貸借対照表）

- 流動資産の増加：好調な営業キャッシュフローによる現預金の増加等を要因としたもの
- 流動負債の減少および長期借入金の増加：短期借入金が減少した一方で、長期借入金が増加したことによるもの
- 利益剰余金の増加等により、自己資本比率は前期比1.2ポイント改善し48.8%となった

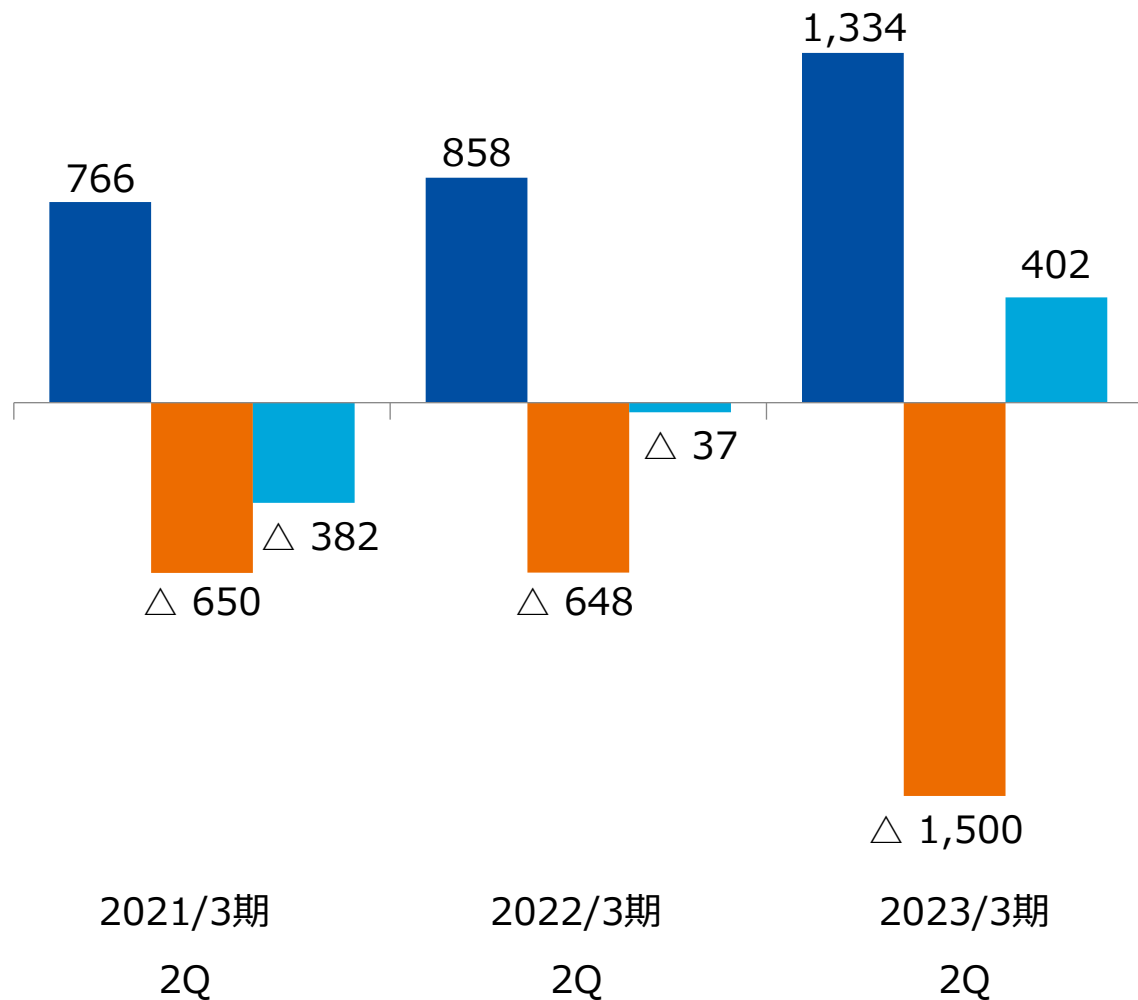




## ②-8 決算内容（キャッシュフロー計算書）

■ 営業CF ■ 投資CF ■ 財務CF

（単位：百万円）



### 営業CF

税金等調整前当期純利益 +1,224百万円  
 減価償却費 +291百万円  
 未収還付消費税の減額 +234百万円  
 法人税等の支払額 △611百万円 等

### 投資CF

有形固定資産の取得による支出 △1,433百万円 等

### 財務CF

長期借入れによる収入 +4,100百万円  
 短期借入金の純減額 △3,093百万円 等

## ②-9 決算内容（業績予想に対する進捗率）

- 第2四半期までの売上高は、概ね予想通りに推移した
- 最終処分場の効率的な運営にかかる整備費等により、売上原価は予想を上回った

（単位：百万円）

	2023/3期 通期予想	2023/3期		
		2Q実績	構成比	進捗率
売上高	7,844	3,783	100.0%	48.2%
売上原価	3,017	1,583	41.9%	52.5%
売上総利益	4,826	2,199	58.1%	45.6%
販売費・一般管理費	1,863	943	24.9%	50.6%
営業利益	2,962	1,256	33.2%	42.4%
営業外収益	15	16	—	—
営業外費用	92	48	—	—
経常利益	2,885	1,224	32.4%	42.4%
特別利益	0	0	—	—
特別損失	0	0	—	—
税引前当期純利益	2,885	1,224	32.4%	42.4%
法人税等	1,135	491	—	—
当期純利益 <sup>(注)</sup>	1,750	732	19.4%	41.9%

注：親会社株主に帰属する当期純利益

①当社グループの紹介 ……P2

②決算内容 ……P8

③今後の見通し ……P18

④ミダックG10年ビジョンと中期経営計画 ……P21

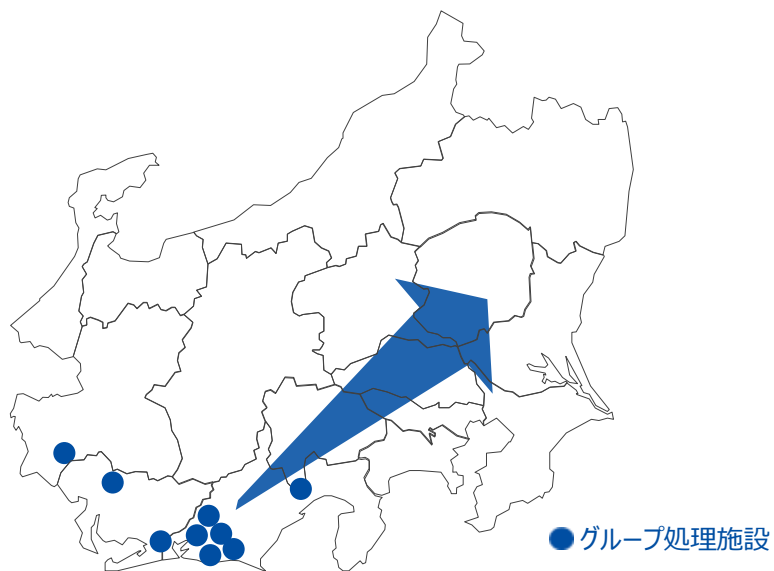
⑤トピックス ……P30

⑥Appendix ……P34

# ③-1 今後の見通し（中長期的な成長戦略）

- 事業地域を拡大し、成長を続けるには、需要が見込める有望地域への拠点展開が不可欠
- 太平洋ベルト近辺に焼却施設及び最終処分場の設置候補地を複数選定し、同時並行的に計画を推進することで、早期に設置許可を取得し、事業の更なる拡大を目指す

## 関東方面への展開注力



- 関東地域への展開に注力し、新規廃棄物処理施設の設置候補地を複数選定
- 新規廃棄物施設の展開については、自社での開発だけに限定せず、M & Aなど柔軟かつスピーディに対応

## 自社による開発



2022年2月 稼働  
新規管理型最終処分場



2022年3月 土地取得  
新規焼却施設用地取得



2026年4月以降 稼働予定  
新規水処理施設

## 積極的かつスピーディーなM&A



2015年 3月  
(株)三晃



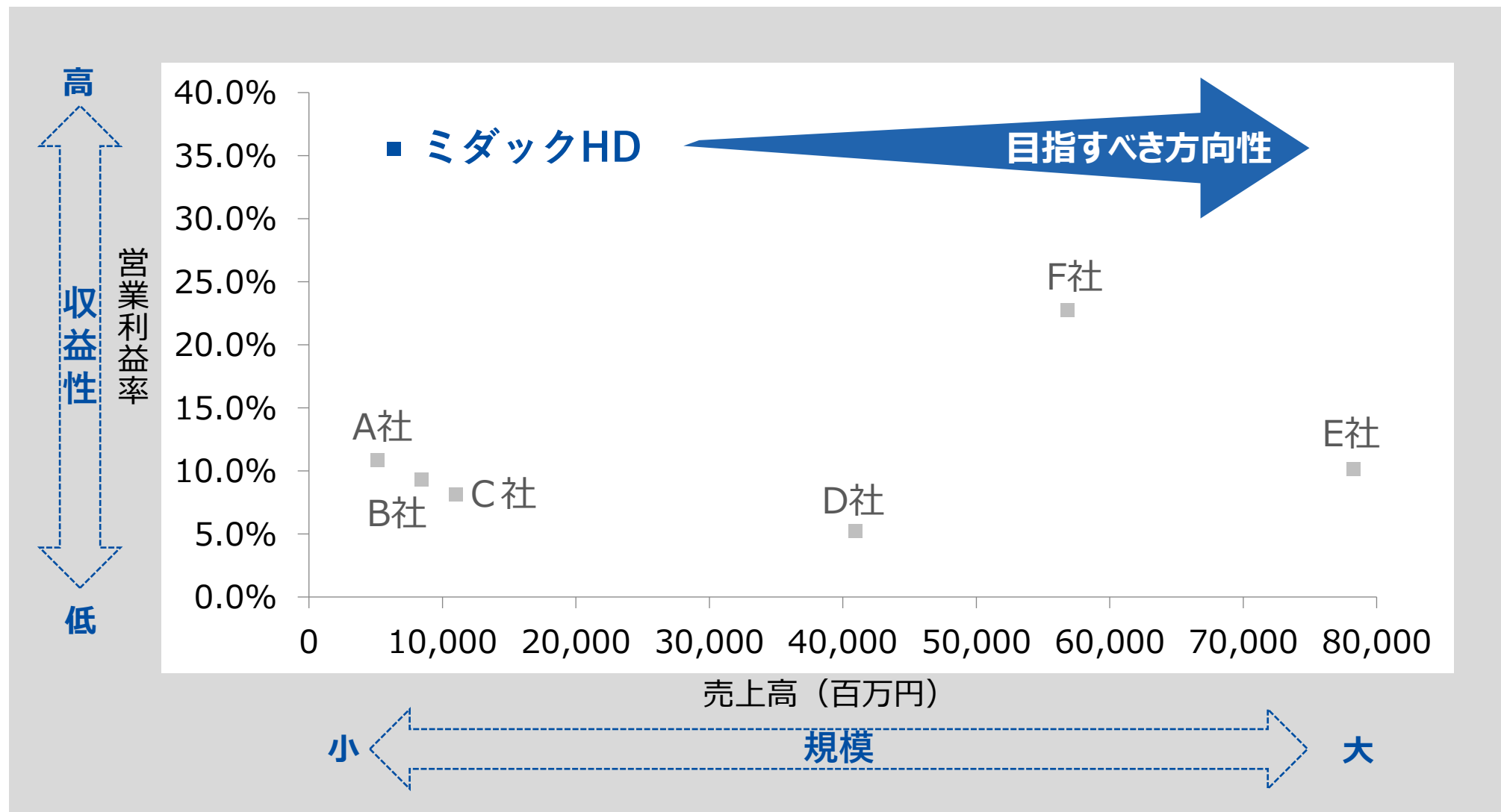
2015年12月  
(株)ミダック



2021年10月  
(株)柳産業

### ③-2 今後の見通し（同業他社比と目指す方向性）

- 売上高は6,381百万円で規模の面では同業他社に劣るものの、営業利益率は35.5%と高い収益性を維持（2022年3月期実績）
- 引き続き関東方面への進出を図り、規模の拡大を目指していく



①当社グループの紹介	…P2
②決算内容	…P8
③今後の見通し	…P18
④ミダックG10年ビジョンと中期経営計画	…P21
⑤トピックス	…P30
⑥Appendix	…P34

2032年4月

ミダックグループ10年ビジョン

# 『Challenge 80th』

業界屈指の総合廃棄物  
処理企業への進化を推し進め、  
業界を代表する  
真のリーダーを目指す。

2022年4月

ミダック  
70周年

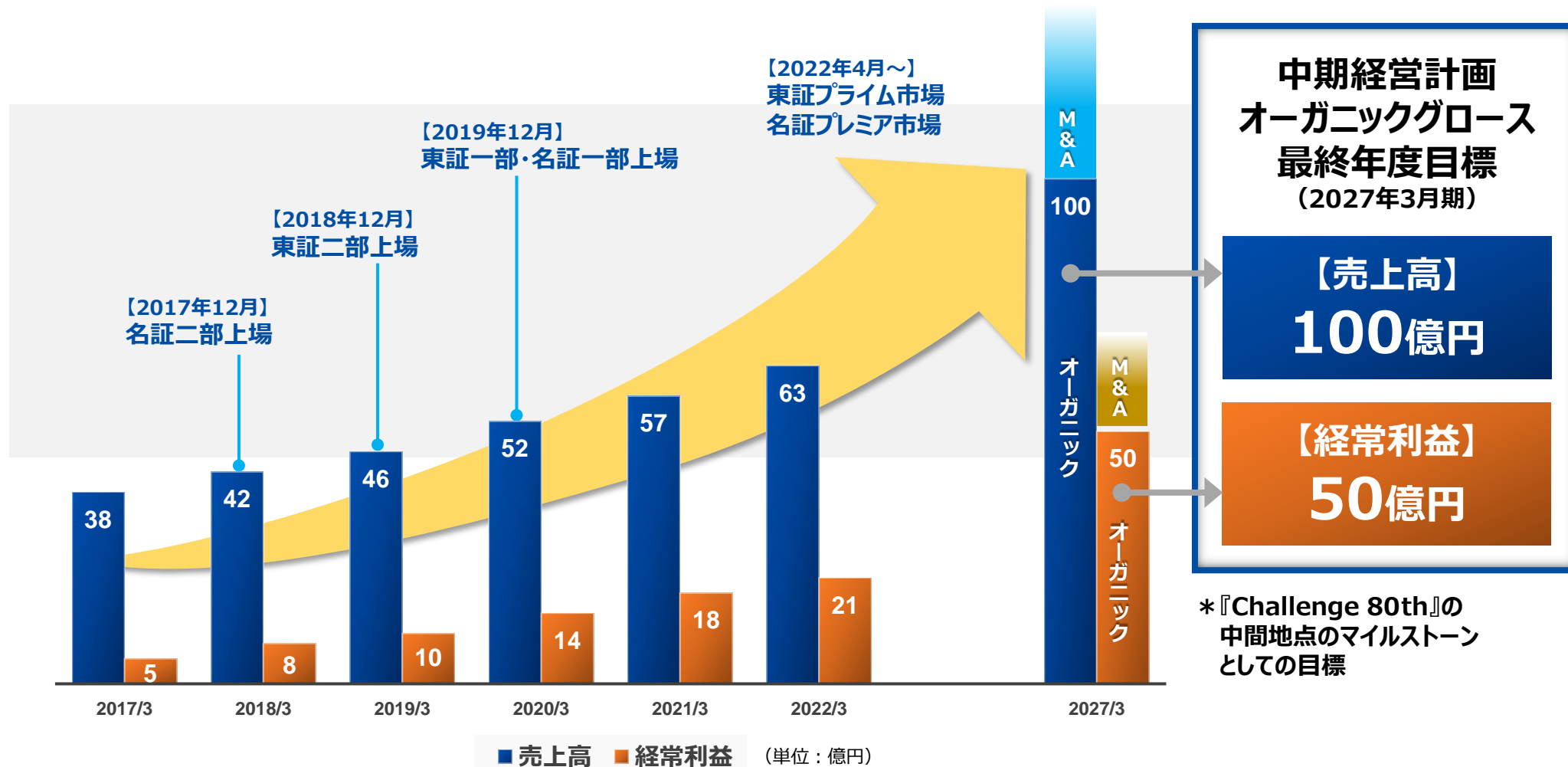


## 『Challenge 80th』の実現に向け、 2次にわたる中期経営計画を推し進めます。





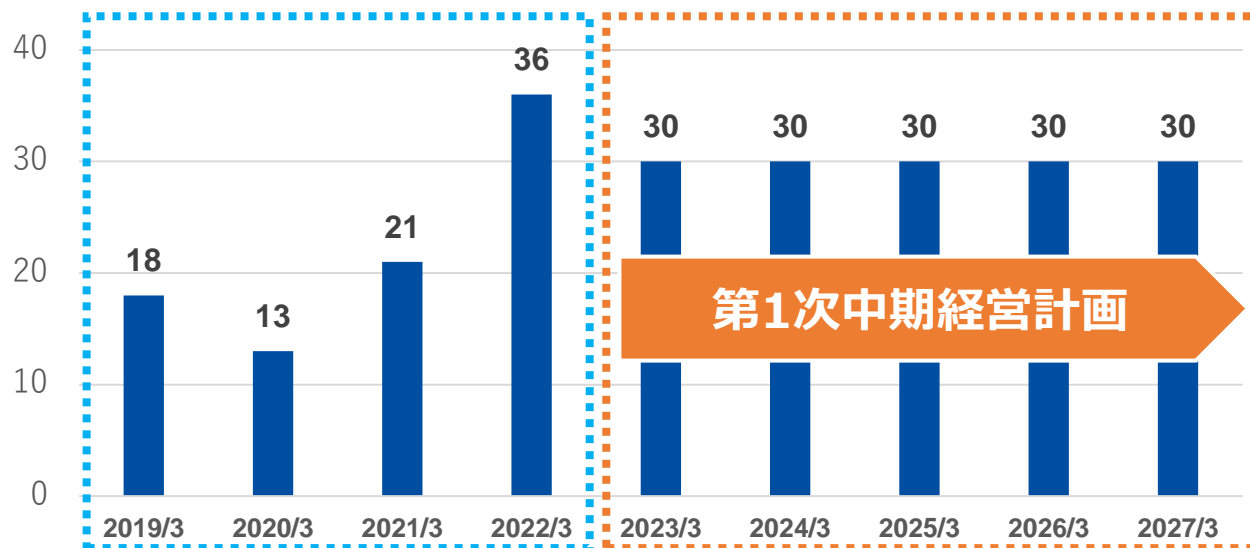
# 成長を持続し、M&Aグロースを除くオーガニックグロースのみで 5年後に売上高100億円・経常利益50億円へ



# 成長加速を図るべく、オーガニック投資（設備投資）とM&A投資を同時に追求

## オーガニック投資（設備投資）

▶設備投資額の推移（億円）



今後の成長基盤を早期に築くことを目的に、これまでの4年間、成長投資を拡大

今後も高水準の設備投資を継続

年平均 30億円 → 5か年合計 150億円

## M&A投資

自社開発だけに限定せず、スピーディな拠点開発が可能なM&Aを戦略的かつ柔軟に実行

### 【これまでのM&A実績】

2015年3月  
株式会社三晃

\* 愛知県春日井市で産業廃棄物の収集運搬および中間処理事業を行う

2015年12月  
株式会社三生開発

\* 浜松市で最終処分事業を営む

2021年10月  
株式会社柳産業

\* 浜松市で産業廃棄物の収集運搬および中間処理事業を行う

2019年3月期～2022年3月期までの4年間における投資の成果

これまでの4年間で行った投資により、一貫処理体制の強化が着実に進みました。

**最終処分**

奥山の杜クリーンセンター  
(管理型最終処分場)

2022年2月 開業



- 許可容量319万 $\text{m}^3$
- 東海地区で最大規模クラス
- 遠州CCの**7倍強**
- 東京ドームの約2.5杯分
- 埋立予定期間：約30年
- 投資予定総額：約120億円

**中間処理**

熊谷市 焼却施設  
(施設名称未定)

2021年11月 用地取得



写真はイメージです

- 面積：8,859.66 $\text{m}^2$
- 施設規模(計画)：200 t/日程度  
(富士宮事業所：132 t/日)
- 取得金額：約6.4億円
- 物件取得日：2022年3月18日

**中間処理**

浜松市 水処理施設  
(施設名称未定)

2019年12月 用地取得

2026年4月以降 開業予定



写真はイメージです

- 面積：12,851.64 $\text{m}^2$
- 施設規模(計画)：  
処理能力は既存施設の約5倍
- 投資総額：約32億円(予定)
- 資金計画：  
取得資金の一部は新株式発行により調達し、  
残額については自己資金で充当する予定

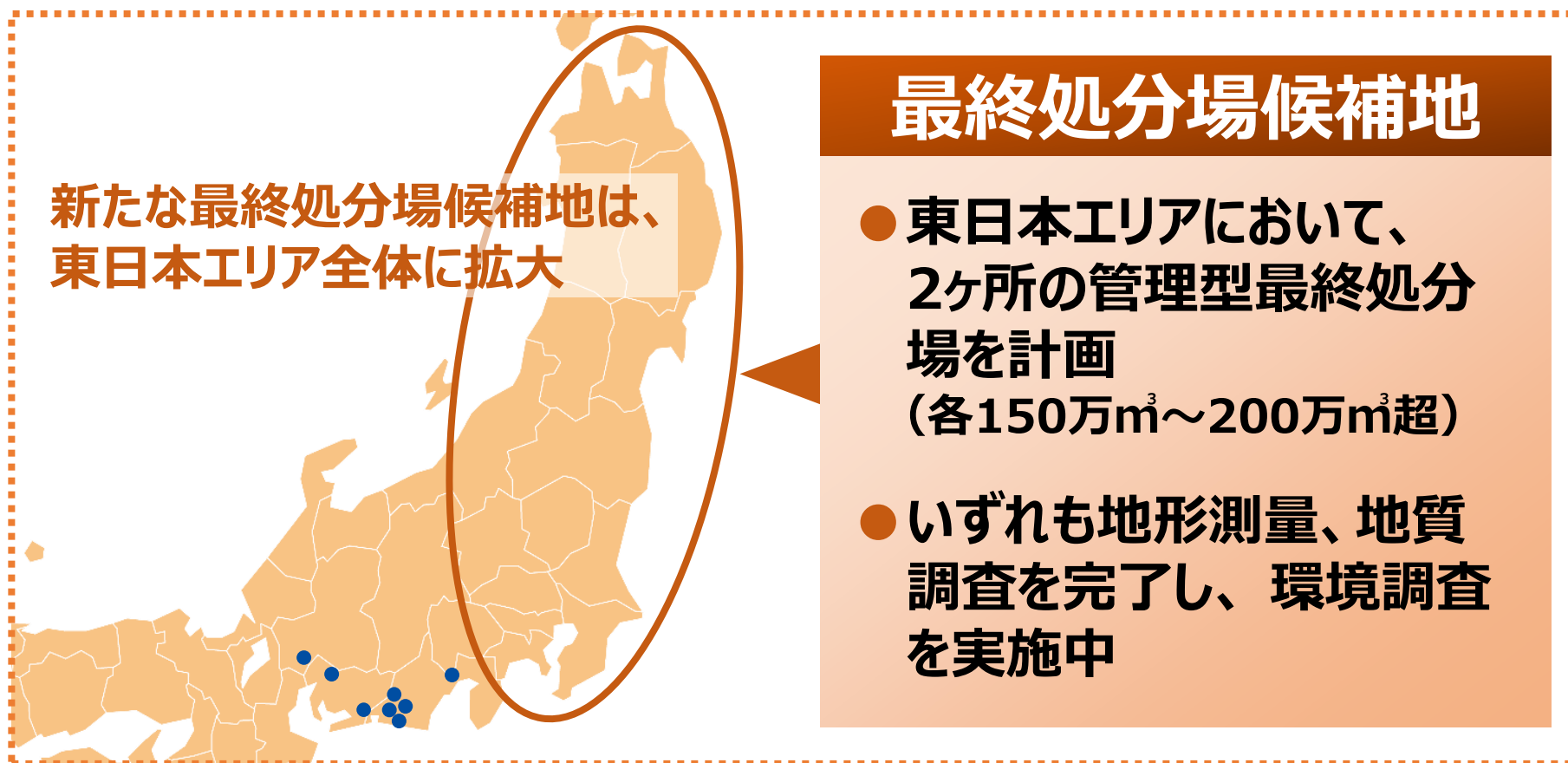
**第1次中期経営計画（2023年3月期～2027年3月期）における拠点開発計画**

**既存拠点の増量・長寿命化計画に加え、  
関東地域への事業エリア拡大を実行し、事業の規模とエリアの同時拡大を推進**



第1次中期経営計画（2023年3月期～2027年3月期）における拠点開発計画

許可取得が容易ではない最終処分場については、  
候補地を広範囲に設定して開発を推進

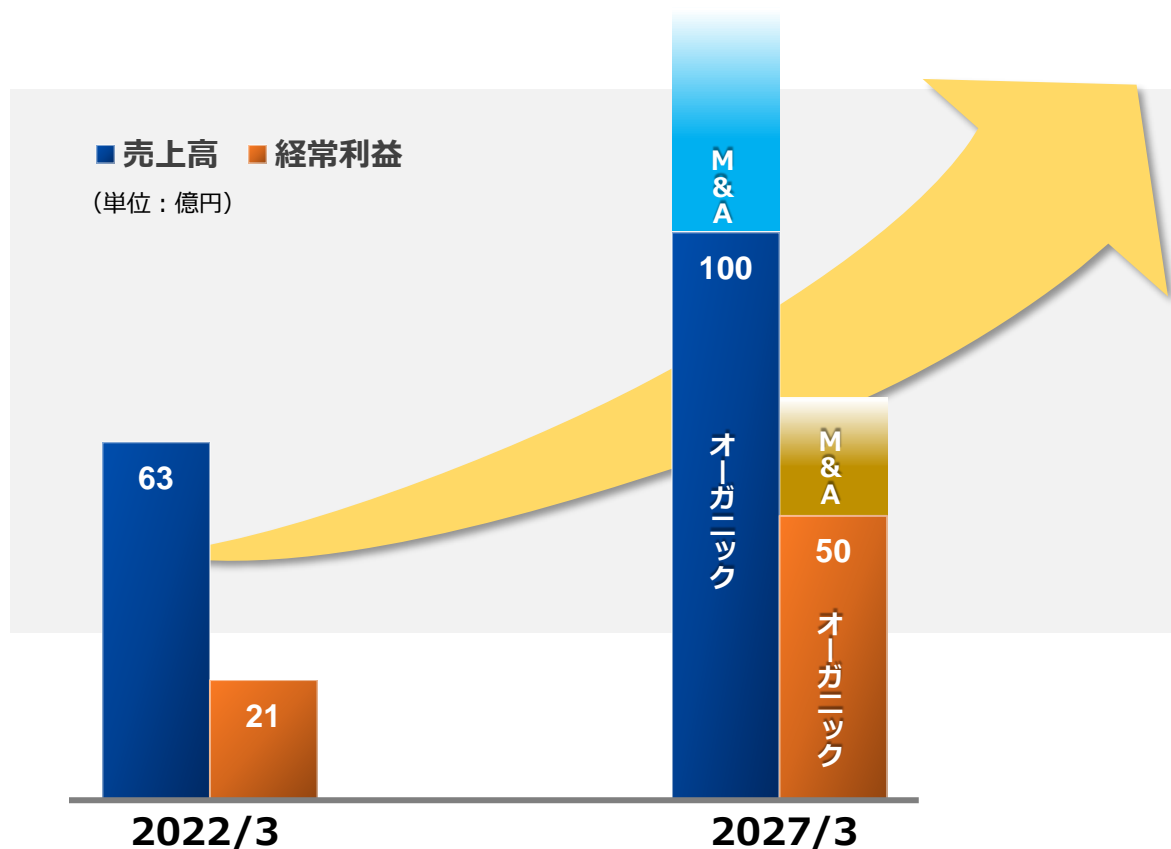


新たな最終処分場候補地は、  
東日本エリア全体に拡大

### 最終処分場候補地

- 東日本エリアにおいて、  
2ヶ所の管理型最終処分  
場を計画  
(各150万 $m^3$ ～200万 $m^3$ 超)
- いずれも地形測量、地質  
調査を完了し、環境調査  
を実施中

# 『Challenge 80th』の実現に向けて、チャレンジングな経営を推し進めてまいります。



ミダックグループ10年ビジョン  
『Challenge 80th』

業界屈指の総合廃棄物処理  
企業への進化を推し進め、  
業界を代表する真のリーダー  
を目指す。

2032年3月期  
**チャレンジ目標**  
(M&A含む)

【売上高】 **400**億円

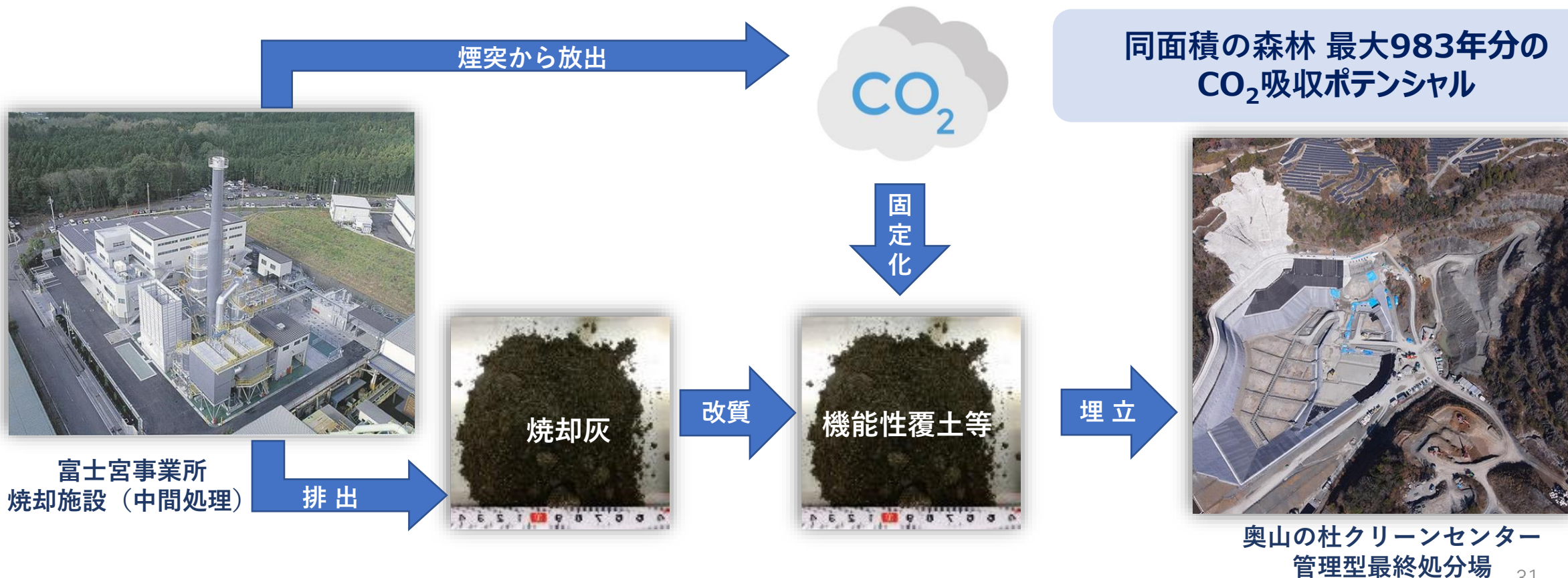
【経常利益】 **120**億円

①当社グループの紹介	…P2
②決算内容	…P8
③今後の見通し	…P18
④ミダックG10年ビジョンと中期経営計画	…P21
⑤トピックス	…P30
⑥Appendix	…P34

## ⑤-1 トピックス（脱炭素化への取組み（廃棄物へのCCS技術開発））

- 早稲田大学地盤工学研究室（小峯秀雄教授）との共同研究を通じて、産業副産物（廃棄物）と最終処分場を活用した焼却由来CO<sub>2</sub>のCCS（CO<sub>2</sub> Capture and Storage：二酸化炭素回収・貯留技術）に取り組み、2050年カーボンニュートラルに貢献してまいります。（SDGs目標13「気候変動に具体的な対策を」）

### 焼却由来CO<sub>2</sub>の焼却副産物（廃棄物）へのCCS構想





1. 裾野市と株式会社ミダックは、大規模災害時等における早期復旧を迅速に行うため、廃棄物の処理等で協力することを目的とし、「地震等大規模災害時における災害廃棄物の処理等に関する協定」を締結しました。

名称	地震等大規模災害時における災害廃棄物の処理等に関する協定
協定の概要	裾野市における大規模災害発生時に同市からの協力要請を受けた場合、当社は人員、車両、資機材の調達や災害廃棄物処理等に可能な限り協力するもの
協定式実施日	2022年9月29日

< 締結式の様子 >



2. 磐田市と株式会社ミダックライナーを含む磐田市の一般廃棄物収集運搬許可業者20社は、災害発生時における迅速・円滑な災害廃棄物処理を行うことを目的とし、「災害時における廃棄物処理等の協力に関する協定」を締結しました。

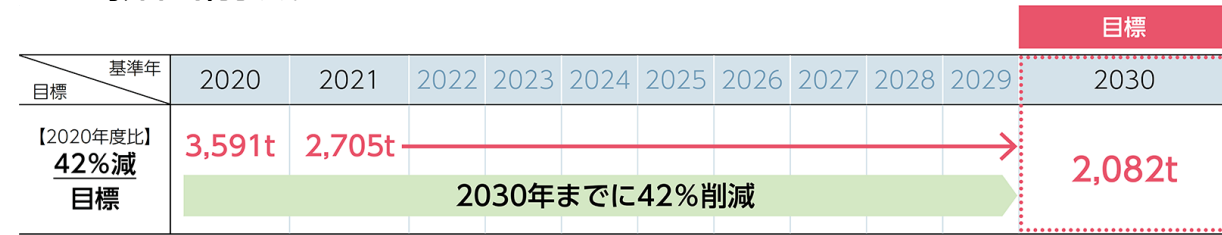
名称	災害時における廃棄物処理等の協力に関する協定
協定の概要	磐田市における災害発生時に同市からの協力要請を受けた場合、ミダックライナー等の一般廃棄物収集運搬許可業者が災害廃棄物処理等に可能な限り協力するもの
協定締結日	2022年7月29日



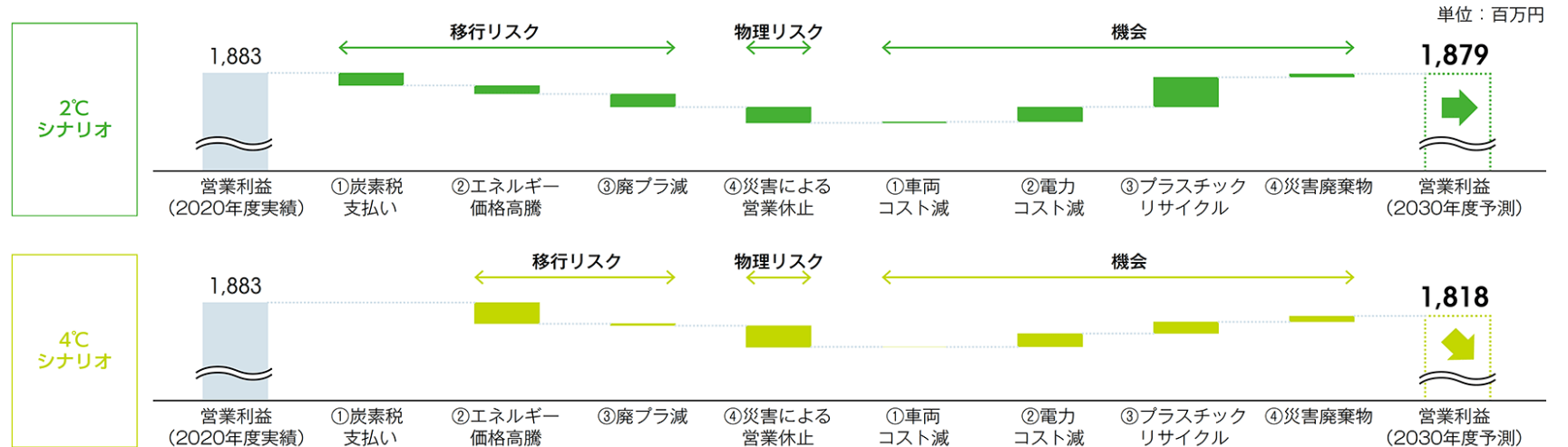
締結式写真：磐田市提供

- 2022年6月、TCFD (気候関連財務情報開示タスクフォース) 提言に賛同を表明
- 気候変動が事業に与えるリスクや機会の分析を行い、TCFDのフレームワークに沿って情報を開示
- 今後も環境に配慮した事業活動を継続することで、持続可能な社会の実現への貢献を目指す

- 指 標 : EV車両の導入及び再エネ調達率の向上
- 目 標 : CO2排出削減



● リスク・機会の財務への影響額

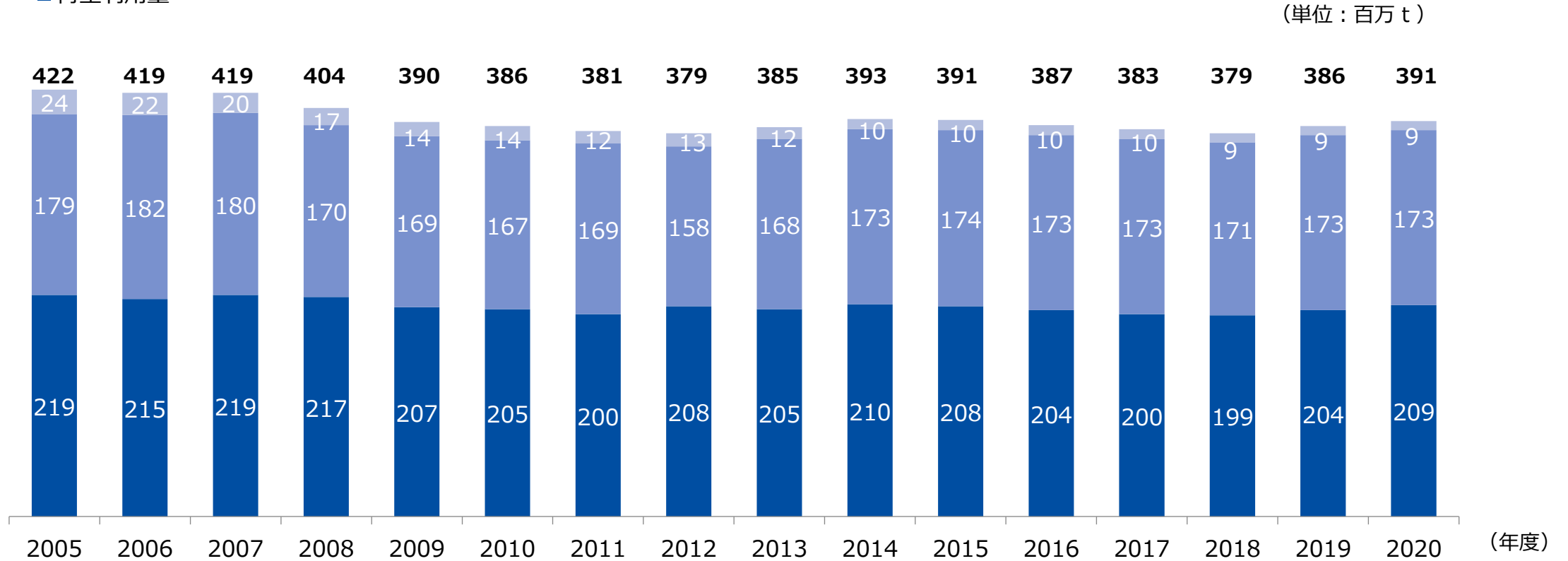


①当社グループの紹介	…P2
②決算内容	…P8
③今後の見通し	…P18
④ミダックG10年ビジョンと中期経営計画	…P21
⑤トピックス	…P30
⑥Appendix	…P34

## ⑥-1 業界環境 (産業廃棄物の総排出量)

- 産業廃棄物の総排出量は2020年度で391百万トンであり、大きな変化は見られない
- 今後においても、一定の廃棄物の排出が継続するものと予測

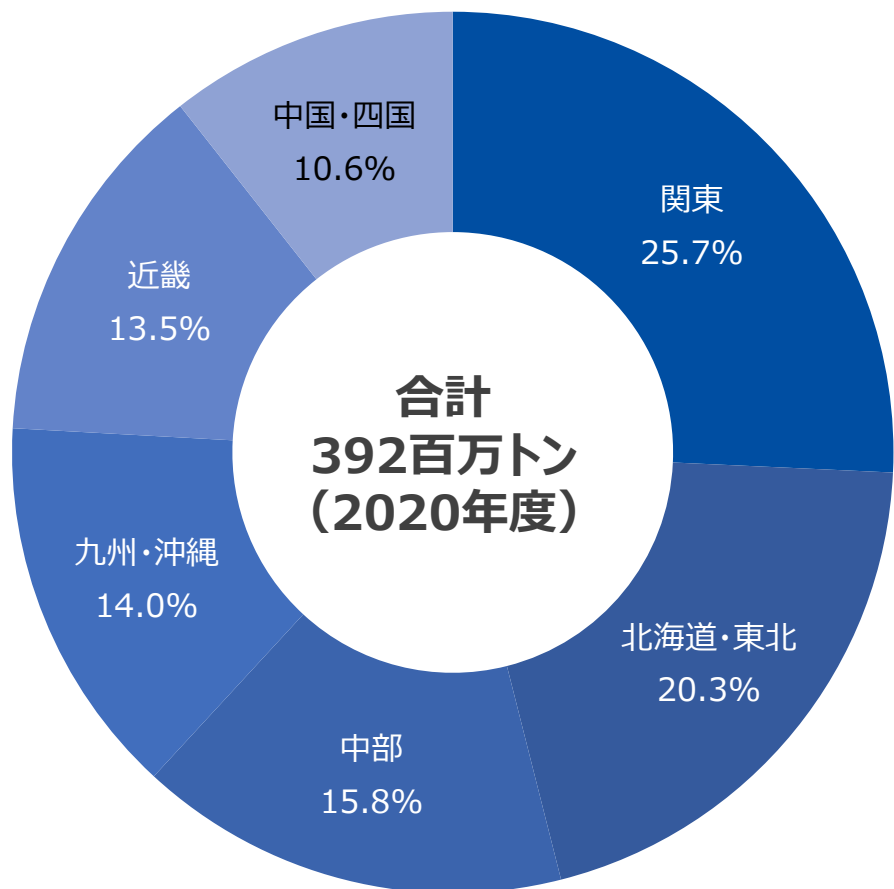
- 最終処分量
- 減量化量
- 再生利用量



## ⑥-2 業界環境 (地域別・業種別排出割合)

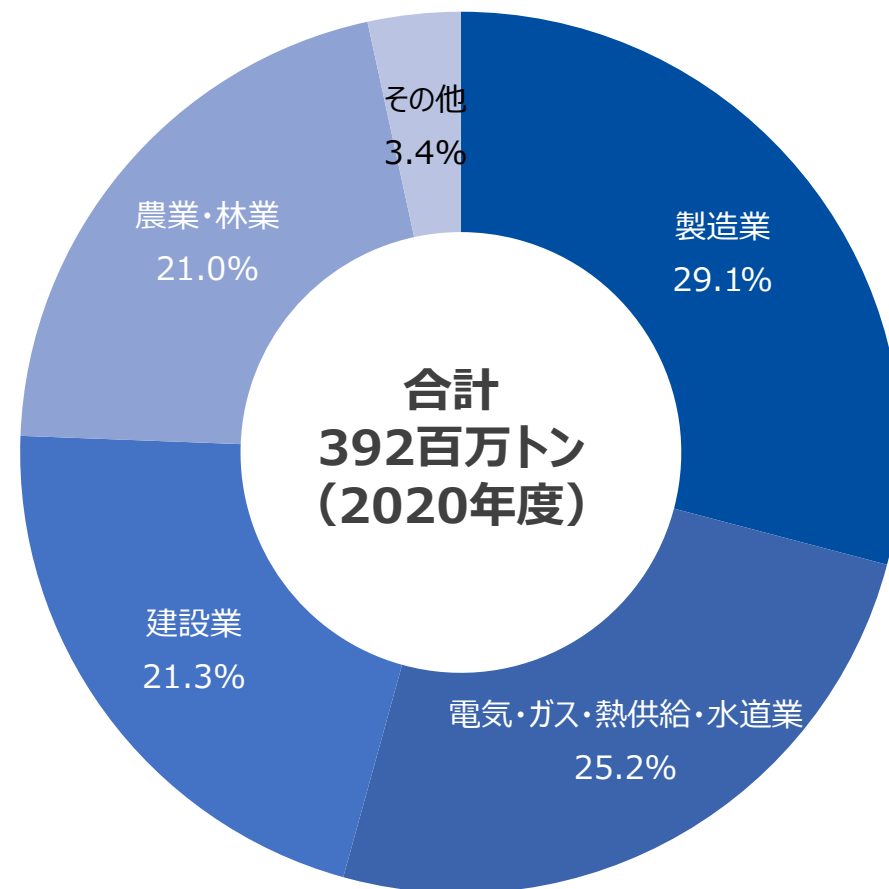
- 産業廃棄物の排出量を地域別で見ると、関東地区の排出量が最も多く、次いで北海道・東北、中部
- 業種別では、製造業の排出量が最も多く、次いで電気・ガス・熱供給・水道業、建設業、農業・林業

産業廃棄物の地域別排出割合



出典:環境省「産業廃棄物の排出及び処理状況(令和2年度速報値)」

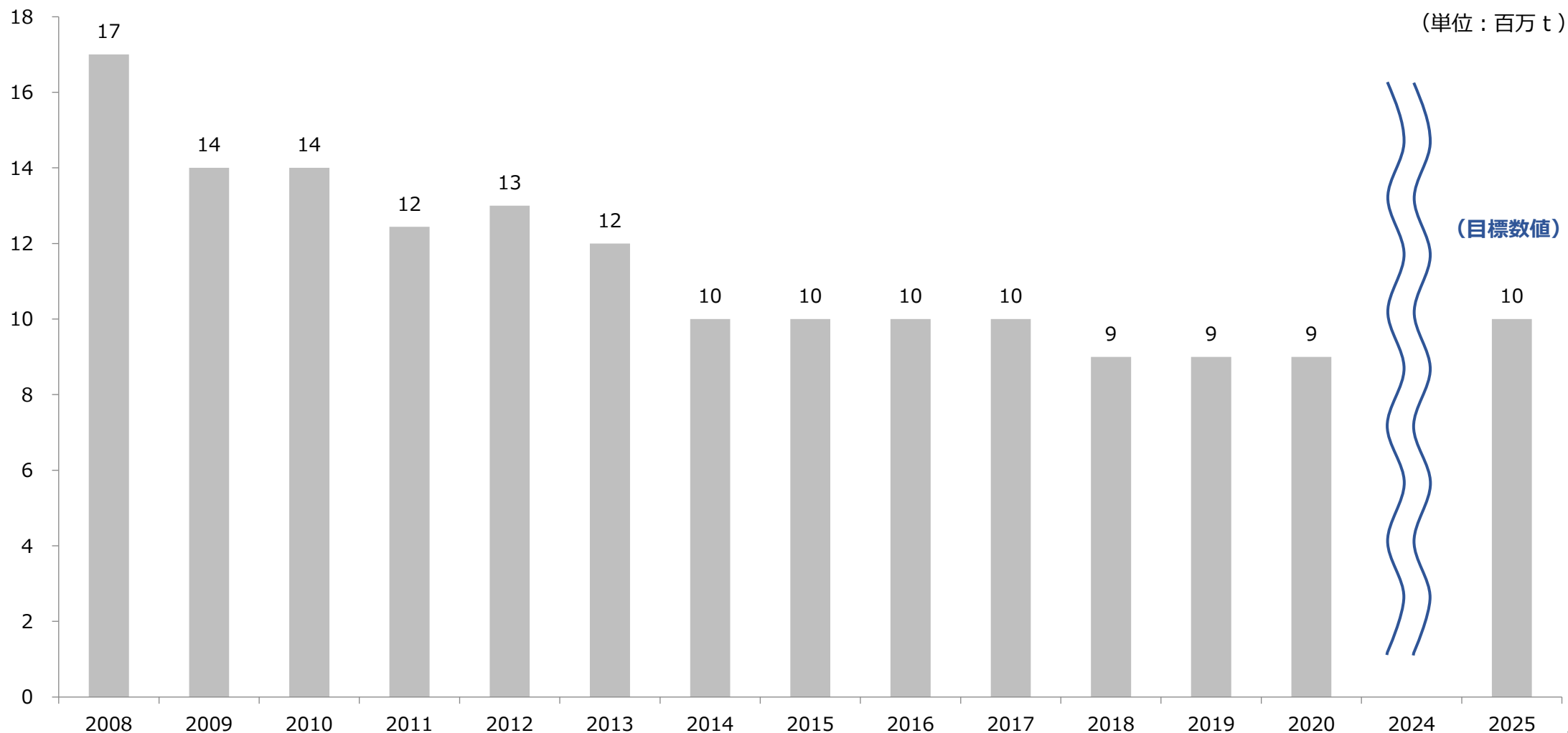
産業廃棄物の業種別排出割合



出典:環境省「産業廃棄物の排出及び処理状況(令和2年度速報値)」

## ⑥-3 業界環境（最終処分場の推移）

- 循環型社会形成推進基本計画では2025年度の最終処分量の数値目標を約10百万トンと設定
- 最終処分は今後も不可避免的に発生し、最終処分場は社会に必要不可欠な存在



## ⑥-4 業界環境 (産業廃棄物最終処分場の残存容量と残余年数)

- 最終処分所の残存容量は約15,397万m<sup>3</sup>であり、前年度から約468万m<sup>3</sup> (2.9%) 減少
- 2020年4月1日現在の最終処分場の残余年数は全国で16.8年、首都圏においては6.1年
- 全国の最終処分場の設置許可数は1,603件

### 1. 最終処分場の残存容量 (2020.4.1現在)

最終処分場	残存容量 (万m <sup>3</sup> )
遮断型処分場	3
	(3)
安定型処分場	5,499
	(5,734)
管理型処分場	9,895
	(10,128)
計	15,397
	(15,865)

1. ( ) は前年度の調査結果

### 2. 産業廃棄物の最終処分場の残存容量と残余年数 (2020.4.1現在)

区分	最終処分量 (万 t)	残存容量 (万m <sup>3</sup> )	残余年数 (年)
全国	916	15,397	16.8
	(913)	(15,865)	(17.4)
首都圏	187	1,141	6.1
	(195)	(1,263)	(6.5)
近畿圏	137	2,462	17.9
	(142)	(2,709)	(19.1)

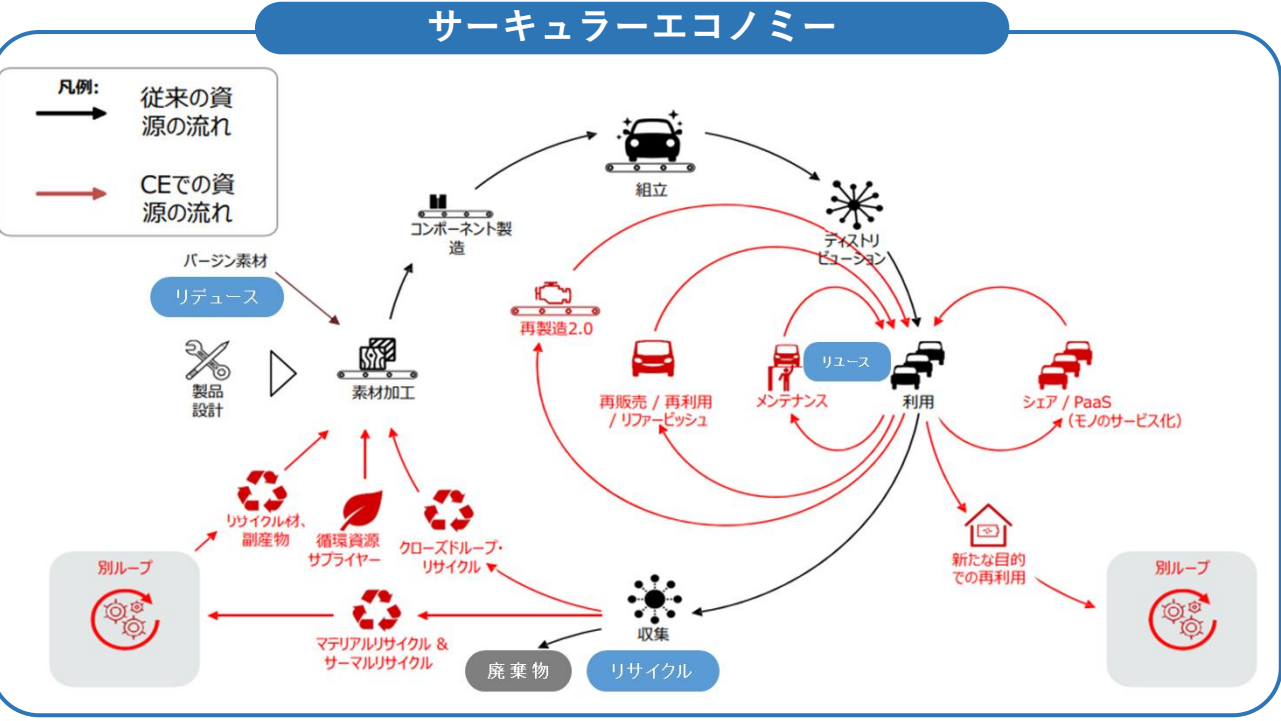
1. 首都圏とは、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県をいう。

2. 近畿圏とは、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県をいう。

3. 残余年数 = 残存容量 / 最終処分量とする。(tとm<sup>3</sup>の換算比を1とする。)

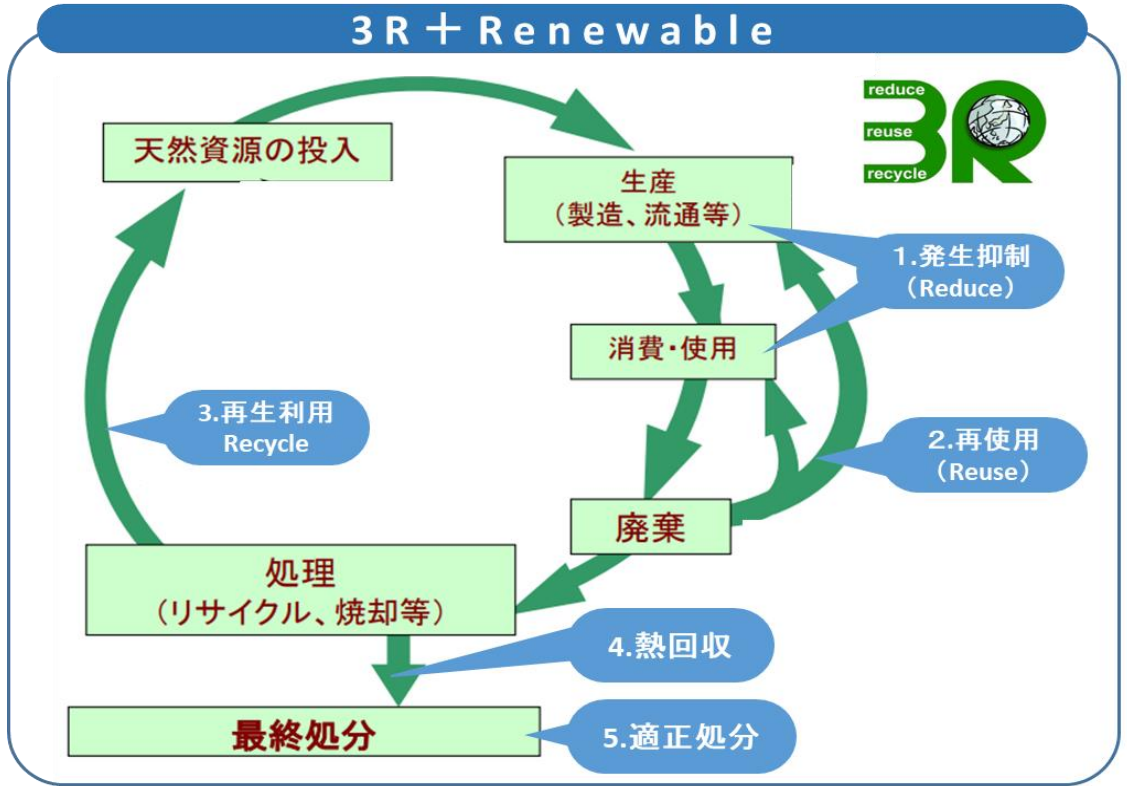
4. ( ) は前年度の調査結果

# ⑥-5 業界環境 「サーキュラーエコノミー」と「3R+Renewable」



\* 図：経済産業省「資源循環政策の現状と課題」を加工して作成

- 1990年代以降、世界的に3R（リデュース、リユース、リサイクル）の仕組みと法制度が導入。
- サーキュラーエコノミーとは、ビジネス活動を通じて循環型社会をつくること。



\* 図：環境省 中央環境審議会・循環型社会推進部会 参考資料を加工して作成

- 循環型社会形成推進基本法（2000年6月公布）第5条～7条に 抑制（Reduce） 再使用（Reuse）、再生利用（Recycle）、熱回収、適正処分の基本原則が記載。
- 「3R + Renewable」は、2019年5月のプラスチック資源循環戦略の基本原則として記載され、それ以降注目が集まっている。
- 動脈産業と同様に、静脈産業の重要性が示される。
- 「熱回収」と「適正処分（最終処分）」を明記



### ■ 社員と家族がいつまでも安心して働くことができるよう、より良い職場環境を確保

#### プラチナくるみマークの認定取得

2015年8月に静岡県の企業では2番目（産業廃棄物処理業界では初）のプラチナくるみマークを取得しました。



「プラチナくるみ認定制度」は、平成27年4月1日施行の改正次世代法により創設され、「子育てサポート企業」として厚生労働大臣の認定（くるみん認定）を受けた企業のうち、より高い水準の取組みを行った企業が認定を受けられる制度です。

#### 週に3日のノー残業 <月・水・金>

週に3日のノー残業デーを実施しています。

#### 年次有給休暇の個別指定方式

従来から有給休暇の計画付与を実施していましたが、社員の都合や希望に合わせた休みを取得できるよう個別指定方式を採用。

#### 育児・介護を支援

育児や介護による休業について、その一部を有給化することにより、育児・介護を支援しています。

#### ワークライフバランス企業の認定取得

2017年2月に浜松市ワークライフバランス等推進事業所を認定取得しました。



働きやすい職場環境づくりや女性活躍の推進を図るため、仕事と家庭（子育てや介護）、地域活動等との両立支援などのワーク・ライフ・バランスに取り組んでいる事業所を認証する制度です。

#### 女性従業員支援

働く女性を応援するセミナーや勉強会を定期的実施することによって、女性従業員がより働き易くなるよう職場の環境づくりに積極的に取り組んでいます。

#### 新型コロナワクチン接種に対する特別休暇の導入

新型コロナウイルス感染拡大防止の一環として、ワクチン接種を柔軟に受けることが出来る環境を整えるために、ワクチン接種日における特別休暇を導入しています。

## ■ 地域社会との良好な関係を構築するため、また環境保全のため、当社グループは精力的に活動



### 五島海岸清掃活動【11月】

私たちの海を守るために、当社は、「6 R 県民運動」に賛同しています。その運動の一環として、2021年11月に、浜松五島海岸にて清掃活動を行いました。

### 環境教育【9月】

毎年秋ごろに有玉小学校（浜松市）を訪問し、ゴミに関する知識や分別・減量の大切さを楽しく学べるよう環境授業を行っています。  
※2022年度は十分な感染対策を講じた上で、3年ぶりに対面での授業を行いました。



### 【公式】YouTube企業チャンネルの開設・運営

「SDGsプロジェクト ミダックチャンネル 未来へつなごうSDGs」と題したYouTube企業チャンネルを開設しました。  
毎月1本の動画が配信されています。



### 環境教育【4月】

なゆた浜北にて浜松市環境部ごみ減量推進課、株式会社青空農園と協働で、体験教室を実施しました。「移動式循環リサイクルカー」を用いて、ごみ減量という観点から、生ごみの有効利用方法についてお話ししました。



### 花のリー・プロジェクト【定期】

『天浜線 人と時代をつなぐ花のリー・プロジェクト』気賀駅の植栽地の除草作業を行っています。気賀駅に植栽された花壇や周辺の定期的な清掃や美化活動に取り組んでいます。



### SDGs推進体制の運用開始【4月】 ミダックSDGs応援団制度導入【9月】

2020年11月に「SDGs推進プロジェクト」を立ち上げ、全部署・全社員への研修等を実施してきました。  
個人のSDGsの意識を高める活動として、「MSLP制度」や「ボランティア休暇制度」を定めました。

この『MSLP制度』を当社グループ内だけでなく地域社会にも広げることで、地域のSDGs活動の推進に少しでも寄与したいと考え、『ミダックSDGs応援団』制度を導入し、参加者の募集を行いました。



### ミダック大抽選会【4月】

毎年恒例のミダック祭、2020年度に続き2021年度もコロナ禍により開催を見送りましたが、少しでも楽しんでもらえるイベントを開催しようと考え、ミダック大抽選会を開催しました。有玉本社近隣の方々へご案内のチラシを配り、多くの方々から応募ハガキをいただきました。



- 本資料は、情報提供を目的としたものであり、当社株式等の特定の商品についての募集・投資勧誘・営業等を目的としたものではありません
- 本資料に記載されている見解・見通し・予測等は、資料作成時点での当社の判断です。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を確認された上で、ご利用ください
- 本資料で提供している情報は万全を期していますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、あらかじめご了承ください
- 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません



おかげさまで70周年 さらなるステージへ

水・大地・空気を未来につなぐ

### 経営理念

ミダックグループは、水と大地と空気そして人、すべてが共に栄えるかけがえのない地球を次の世代に美しく渡すために、その前線を担う環境創造集団としての社会的責任を自覚して、地球にやさしい廃棄物処理を追求してまいります。

株式会社ミダックホールディングス